

## 今年も日の出ひがた観察会がはじまりました

今年も恒例の「日の出ひがた観察会」が始まりました。

第 1 回目は、「新浦安 i-net」さんの企画に「浦安自然まるごと探検隊」が協力をし、一日 2 回、計 60 名の参加者と日の出干潟を観察しました。

日の出干潟を訪れるのは初めてという方が多く、浦安にこんな干潟があったことや、様々な生きものがあることに、みなさん一様に驚かされていました。また、ようやく春本番ということもあって、潮干狩りをしている人の多さにもびっくりでした。

小さな魚やカニがたくさん見られ、春の到来を感じさせてくれました。これから大きく成長していくのが楽しみです。

### 観察できた生きもの

アサリ(やや多い)、シオフキ、バカガイ、マテガイ(多い)、オオノガイ(少ない)、カガミガイ、タマキビガイ、イボニシ、マガキ、ムラサキガイ(少ない)、ボウアオノリ、アナアオサ、オゴノリ、ハネモ、ゴカイの卵、ワレカラ、ミズヒキゴカイ、イトマキヒトデ、キヒトデ、スズガモ、ヒドリガモ、チョウゲンボウ、オオバン、カルガモ、ヒバリ、ハクセキレイ、ハシブトガラス、セグロカモメ、ツグミ、カワウ、カレイ(幼魚)、エビ sp、マハゼ?(幼魚)、ニホンアカガエル(卵塊 6・オタマ)、ヤドカリ、ナマコ、イシワケイソギンチャク、タテジマイソギンチャク、フジツボ sp、マメコブシガニ(少ない)、イソガニ sp(子ども)、ヤドカリ sp、スゴカイイソメ(多い)、



### 観察できた生きもの

アサリ(やや多い)、シオフキ、バカガイ、マテガイ(多い)、オオノガイ、カガミガイ、タマキビガイ、イボニシ、マガキ、ムラサキガイ(少ない)、ハマグリ(貝殻)、サキグロタマツメタガイ(殻?)、ボウアオノリ、アナアオサ、オゴノリ、ハネモ、ワレカラ、ミズヒキゴカイ、スゴカイイソメ、イトマキヒトデ、ナマコ、カレイ(幼魚)、ジャコウエビ sp(卵もち)、マハゼ?(幼魚)、ギンボ(幼魚)、ボラ(幼魚)ヤドカリ、タテジマイソギンチャク、フジツボ sp、マメコブシガニ、イソガニ sp(子ども)、ケフサイソガニ(死体)、ヤドカリ sp、スズガモ(少ない、護岸に死体)、オオバン、ヒバリ、セッカ、ハクセキレイ、ハシブトガラス、セグロカモメ、カワウ、



## レイチェル・カーソン協会シンポジウム報告

4 月 17 日(土)「特定非営利活動法人 日本レイチェル・カーソン協会」による『レイチェル・カーソン没後 40 周年記念行事 センス・オブ・ワンダー・2004 われらをめぐる海・三番瀬』が、浦安市民プラザ WAVE101 にて開催されました。

レイチェル・カーソンといえば、化学物質の危険性をいち早く訴えた『沈黙の春』があまりにも有名ですが、海洋生物学者であった彼女は、「海の伝記作家」とも言われるほど、海にまつわる著作も数多く残しています。

今回のシンポジウムでは、彼女の海にまつわる作品に焦点をあてながら、私たちの活動場所でもある三番瀬を舞台に、「われらをめぐる海」の現在とこれからについて考えました。

「浦安自然まるごと探検隊」もパネラーとして参加し、地元の市民活動団体として、浦安の市民から見た三番瀬の現状と今後の課題について報告を行いました。

三番瀬は、はるか昔から人々の営みと深く結びついてきた海であり、まさに「われらをめぐる海」として存在してきました。しかし、埋め立てなどによって人と海との距離が遠くなり、かつての結びつきは急速に薄れつつあります。

今後、薄れてしまった結びつきを強め、豊かな海を取り戻していくには、そこに住む私たちがどう海と接していくべきなのか、かつての人々の知恵に学びながら、一人一人が考えていくことが重要ではないでしょうか。

## 第9回浦安から三番瀬クリーンアップ大作戦終了！！

今回で9回目となる『浦安から三番瀬クリーンアップ大作戦』が、5月23日(日)に行われました。

例年どおり、「浦安自然まるごと探検隊」は、クリーンアップ終了後の観察会をお手伝いしました。

当日はあいにくの曇り空となりましたが、クリーンアップには400名ほどの参加があり、引き続き観察会に参加される方も大勢いらっしゃいました。

特にマテガイ掘りは大人気で、あのマテガイを掘り出すときの何ともいえない感触を皆さんに楽しんでいただこうと、探検隊の隊員もがんばりました！アカエイの死骸やブドウガイの卵など、普段あまり目にしないものも観察でき、楽しい観察会となりました。



アカエイの死骸



ブドウガイの卵

## 浦安自然まるごと探検隊オリジナルグッズ 「マメコブシール」&「三番瀬と暮らす」パンフレット

「日の出ひがた観察会」ですっかり顔なじみのマメコブシガニが、かわいいシールになりました。今なら入会特典として、この「マメコブシール」をお一人様10枚プレゼントしちゃいます！観察会に行く時のカバンやフィールドノートに貼ってもよし、下敷きやクリアファイルに貼ってもよし、学校の机に貼ってもよし(?)の優れものです！今すぐ入会して、ゲットしてくださいね



もう一つのオリジナルグッズは、「新浦安 i-net」さんと一緒に企画・製作した『三番瀬と暮らす』パンフレットです。A2サイズ両面フルカラーで、日の出干潟で見られる生き物たちの紹介のほか、「浦安自然まるごと探検隊」の隊員が語る日の出干潟の魅力、「浦安三番瀬を大切に作る会」の行っている「三番瀬ミニクリーンアップ」体験レポート、かつての人と三番瀬とのつながりが感じられる「三番瀬と暮らし」など、読みごたえのある内容となっています。



三番瀬ってナニ? という方にも、これを読めば三番瀬の魅力を感じてもらえるのではないのでしょうか。ご希望の方には一部100円でお譲りしています。詳しくは下記連絡先までお問い合わせください。

~~~~~  
編集後記 上でもご紹介しているマメコブシール、私も10枚いただいたのですが、実はまだもったいなくてどこにも貼っていません。それくらいかわいいマメコブシール、ひそかに浦安で流行らないかななどと妄想しています。「日の出ひがた観察会」の参加者はもちろん、浦安市内の小学生のランドセルにはみんなマメコブシールが貼ってある！とか。シールだけでなく、クリアファイルにしたりマウスパッドにしたり、Tシャツにしても可愛いだろうなあ…。少しずつ実現していく気です。どうぞ期待!(ぬ)

### 会員募集中

浦安自然まるごと探検隊は、会員を募集しています  
お問い合わせのうえ、以下まで年会費をお振り込みください  
千葉銀行 浦安支店 普通口座 3404140  
年会費 一般会員 1000円 賛助会員 一口1000円

郵便 〒279-0002 浦安市北栄1-1-16  
浦安市市民活動センター気付 浦安自然まるごと探検隊  
FAX 047-305-1722 (市民活動センター)  
E-mail marugoto-tankentai@be.to  
HP <http://urashizen.tripod.co.jp>